



地域と結ぶ



順天堂大学練馬病院ニュース

新春のお慶びを申し上げます

新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院は平成 27 年 7 月 1 日に開院満 10 周年を迎えることが出来ました。これも偏に地域の皆さまと、かかりつけ医である練馬区をはじめとした近隣地区医師会の先生方からの信頼のおかげと感謝申し上げます。本年も大学医学部附属病院として質の高い医療の提供と、東京都地域医療支援病院として、かかりつけ医の先生と密に連携を保ち、皆さまに「安心」「安全」な医療をお届けできるよう努力してまいります。



院長 児島邦明

順天堂の学是「仁」；人ありて我あり他を思い遣り慈しむ心、理念「不断前進」；つねに高い目標を目指して努力を続けること、を心に職員一同、本年も医療を通じて地域社会に貢献してまいります所存でございます。

本年が皆さまにとって幸多き年でありますようお祈り申し上げます。

平成 28 年 新年号

あけまして

おめでとうございます



地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。

何なりと
ご相談ください。

着任のごあいさつ

9月から順天堂練馬病院、総合外科に赴任しました李です。昭和63年順天堂大学を卒業。専門は消化器一般外科です。また、平成19年からは順天堂大学浦安病院に赴任し、腹腔鏡手術を中心とした低侵襲手術の経験を積んできました。



総合外科 准教授
李 慶文

当科では、胆石、鼠径ヘルニアなどの良性疾患だけではなく、胃がん、大腸がんに対しても適応により腹腔鏡手術をおこなっています。腹腔鏡手術は、お腹の中に内視鏡を入れ、モニターを見ながらおこなう手術です。手術の傷を小さくし、術後の痛みを軽減して、患者さんの負担を減らすことが目的です。これからも総合外科チーム一丸となって、より安全で患者さんの負担が少ない治療を心がけていきたいと思えます。

このたび、10月1日をもちまして順天堂医院（お茶の水）より当院、総合外科に着任いたしました、須郷広之（順天堂大学医学部出身）と申します。



総合外科 准教授
須郷広之

前任の順天堂医院では、肝胆膵外科に所属し、主に肝臓、膵臓、胆道系のがんをはじめとした疾患や肝移植手術を中心に診療しておりました。この領域の病気は外科のなかでも比較的専門性が高く、病気によっては複雑な手術になる場合も少なくありません。

当院でも、まず安全に心がけ、より専門的な質の高い手術、医療が提供できますように、順天堂練馬病院の一員として、皆様の「健康を守る」お手伝いが少しでも出来ればと思えます。よろしく願い申し上げます。

救急・集中治療科 杉田 学医師 天皇・皇后両陛下に 拝謁し、岸田外務大臣より感謝状授与

2015年4月25日にネパール連邦民主共和国で発生した地震の災害派遣を含む我が国の国際協力事業への貢献に対して、当院の救急・集中治療科杉田 学医師が岸田外務大臣より感謝状を受けました。また、この2週間後には、天皇・皇后両陛下に拝謁する機会を頂くこともできました。



杉田医師（右から2番目） 2015年11月5日 外務省新庁舎講堂にて

【杉田医師のコメント】

今回の表彰及び両陛下拝謁の機会を頂けたことは、身に余る光栄であるとともに身の引き締まる思いでいっぱいです。今後も医学部と国際教養学部を擁する本学の教員として、引き続き国際貢献と後進の育成に励みたいと思います。

（救急・集中治療科 杉田 学）

インフルエンザについて

総合診療・性差科 鈴木麻衣

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染症です。インフルエンザの特徴の一つに、短期間に多くのヒトに伝播し感染を引き起こす事が知られています。日本でも毎年冬季に多くの感染者を出し、流行は12月中旬ごろから始まり1月後半から2月初めにピークを迎え、3月から4月にかけて終息します。



鈴木麻衣

1. 典型的なインフルエンザの特徴 (症状の程度や期間には個人差があります)

症 状	・38℃以上の発熱 ・全身症状：寒気、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身のだるさなど ・上気道炎症状：のどの痛み、鼻汁、鼻づまりなど
潜 伏 期 間	1～4日 (感染して症状が出現するまでの期間)
感 染 期 間	発症後2～5日間、小児は7日間
感 染 経 路	主に飛沫感染 (飛沫：咳やくしゃみで放出されるウイルスを含んだ粒子)
風邪との違い	突然発症の事が多い、全身症状が多い

2. 治療に関して

インフルエンザと診断された場合、年齢や合併症の有無などにもよりますが、現在は抗ウイルス薬を中心に治療を行います。また症状緩和のために解熱薬や漢方薬を使用することもあります。

3. 予防策と体調管理

①手洗い、うがい、咳エチケット：咳やくしゃみで人からうつる、またはうつすことを防ぐため

咳エチケットの例

- ・症状のある人は鼻と口全体を覆うようにマスクを正しく着用する
- ・咳やくしゃみはティッシュで鼻と口を押さえて、周りに飛散しないようにする

②予防接種 (2015年より4価ワクチン)：効果は100%ではありませんが、発病を予防し病気の重症化を防ぐことが知られています。

③休養、加湿：周囲へ感染を拡大する恐れもあるため無理をせず休養をとりましょう。学校では出席停止期間が決められています。職場にも必ず相談しましょう。ウイルスは乾燥を好むため適度に加湿しましょう。



子どものピロリ菌感染症について

総合小児科 幾瀬 圭

🌸 「ピロリ菌ってなに？」

ピロリ菌は胃の中に住みつく珍しい細菌です。普通の菌は胃酸によって退治されてしまうため、胃内に長く留まることはできません。しかし、ピロリ菌は独自の機構で酸を中和して胃の壁に定着します。ピロリ菌が住み着いた胃の粘膜は炎症を起こし、結果として胃がんを発症する危険性が高まります。



幾瀬 圭

🌸 「ピロリ菌はいつ、どこからくるの？」

ピロリ菌感染のほとんどは2歳以前に成立します。多くはご家族の口からお子様の口へと移ります。小児期に感染するとピロリ菌を排除できず、胃内に抱えたまま年を重ねることになります。

🌸 「ピロリ菌に感染した場合の症状は？」

ほとんどの方は無症状です。しかし胃炎が強くなると腹痛を繰り返すことがあります。また胃潰瘍や十二指腸潰瘍を併発すると便が黒くなることもあります。時に貧血や血小板減少症を生じることも知られています。

🌸 「ピロリ菌感染症の治療は？」

無症状であれば、小児期の治療は不要です。しかし、潰瘍や難治性の血小板減少症を認める場合には抗菌薬と制酸剤による除菌治療が必要になります。お子さんの繰り返す腹痛や黒色便、難治性の貧血や血小板減少症でお困りの際は、まず小児科までご相談ください。適応に合わせて内視鏡検査やピロリ菌検査などで対応させていただきます。



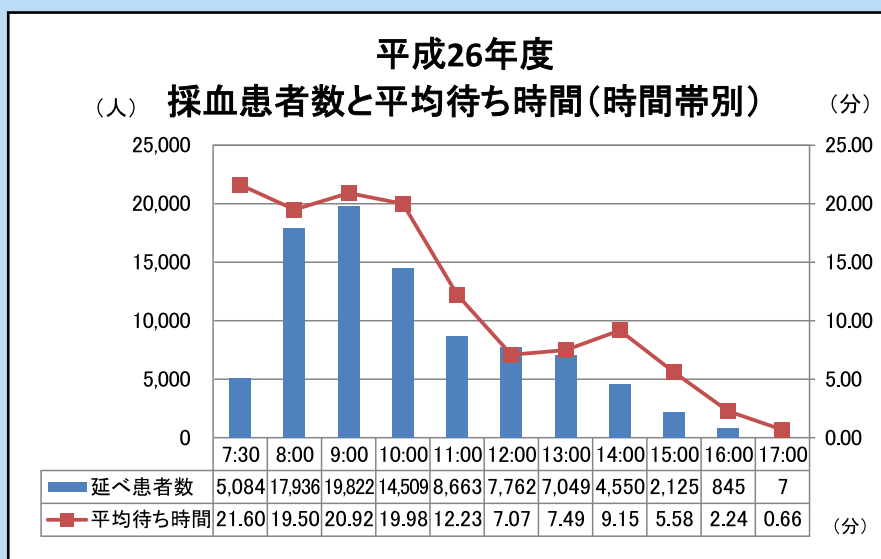
病院業務改善セミナー開催

平成 27 年 11 月 21 日（土）～ 22 日（日）、練馬区立少年自然の家ベルデ軽井沢において「病院業務改善セミナー」を行いました。5 回目となる今回は QI（Quality Indicator＝医療の質の指標）をテーマに、各部署において課題を見つけ、いかに質の改善を行うかを討議しました。グループディスカッションでは、それぞれの視点から指標の見直しを図り、熱い議論が交わされました。セミナーでの経験を活かし、全職員一丸となって医療の質の向上に努めてまいります。

（総務課長 岩崎 登）



採血患者数と平均待ち時間 及び検査報告時間



検査室到着から報告までの平均所要時間

生化学検査	29.5分
血算検査	9.0分
凝固検査	37.2分
尿検査	21.2分



平成26年度の外来採血患者数は延べ約9万人であり、平均待ち時間は、11.5分、最大（患者さんが集中する時間帯；8時～10時）で約30分程になることもありました。比較的スムーズに採血できる時間は11時以降であり、その時間をおすすめいたします。また検査結果は、項目により異なりますが、検査室に検体が到着してから平均40分以内で報告しております。

(臨床検査科 石井 清)



北岳より望む雲海に浮かぶ富士

「皆さまの声」委員会より

院長補佐 浦尾正彦

順天堂練馬病院では患者さんや、ご家族からのご意見を「皆さまの声」として、病院業務改善の資料とさせていただいております。頂きましたご意見には、できるだけ早急に解決策を検討し実施いたしております。ご意見に対する回答は2階エスカレーターホールに掲示してありますのでご確認くださいと幸いです。

また、皆さまからの多くの励ましの声に、全職員が勇気づけられ、さらに質の高い医療への意欲をかきたてられています。今後とも皆さま方のご支援と奇譚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

＊頂いた謝辞の中から

- ◇夜間救急で来院し入院となったが、内科医師の連携、研修医の暖かい対応に本当に感謝している。
- ◇内科〇〇医師の、患者の気持ちに寄り添った丁寧な診療に感謝している。改めて医療の質の高さを感じた。

